

15 職域コホートにおける動脈硬化危険因子の長期追跡研究

研究代表者名：河野宏明¹

共同研究者名：副島弘文¹、中山茂樹²、木庭郁郎³、藤井裕己⁴、丸山征郎⁵、小川久雄¹

施設名：熊本大学大学院循環器病態学¹、熊本厚生農協診療所²、熊本ヘルスケアセンター³、NTT西日本九州病院⁴、鹿児島大学大学院臨床検査医学⁵

統合研究の0次および一次研究に症例登録を行っている。0次研究には2465症例（男性1726名、女性739名、40-55歳）の登録を行っている。毎年の発症追跡の結果、29症例の発症も確認することができた。その結果、虚血性心疾患10名（46-55歳、平均50.3歳）、脳血管障害15名（41-50歳、平均47.8歳）、大動脈瘤2名、悪性腫瘍2名の発症を認めた。その他に1名の交通事故死があった。動脈硬化に伴う血管障害としては、心疾患よりも脳血管障害の方が多かった。しかも、脳血管障害の方が発症年齢が若い傾向があった。脂質など基礎的な血液データおよび生活習慣と発症との関係について報告する予定である。また、一次研究には、職域コホートとして4349症例の登録を行っている。今年度は、発症追跡を行うとともに、繰り返しのデータを採取するために食事、運動調査、採血データを収集する予定である。ただ、職域コホートであるため、疾患発症率は低いものになると考えられる。運動習慣や食習慣および既往歴など多面的な面から検討していきたい。